

京都ブランドを発信

素材から染織、加工まで

京都商工会議所

【大阪】京都商工会議所は、京都の染織、織維などの伝統産業や歴史・文化などの優れた資源に更に磨きをかけ、都市としての品格を高める「京都ブランド推進事業」を推進しており、そのプロジェクト事業として、05年から「KYOTO PREMIUM事業」を実施している。

に、国際的でモダンなデザインを取り入れ、ライフスタイル分野の商品開発や販路開拓などを総合的に展開し、京都発のライフスタイルの提案を行おうというもの。

開発商品は京友禅真綿掛けふとん、シルクシャンタージュ敷きふとん、正絹流水枕、西陣椅子張りの地チェア、大唄絞りのクッション、照明器具など。

今回の開発した商品は、1月27日から5日間、パリ・ノール国際展示場で開催された国際見本市「メゾン・エ・オブジェ2006」に出展した。

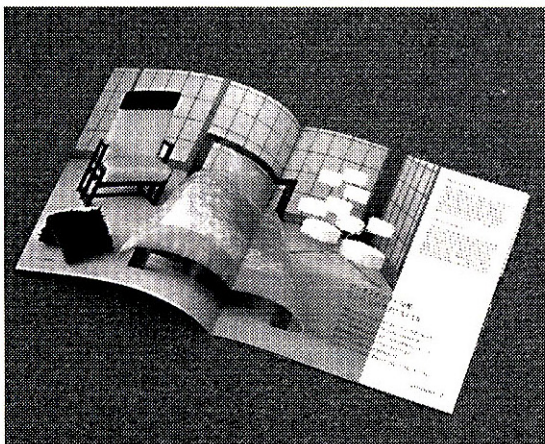
この事業は、京都の伝統産業における匠の技や素材

エ・オブジェ2006」に出展した。

京友禅真綿ふとんは、正絹ふとんに流水の伸びやかな流れを表現した糸目友禅・ぼかし染め(手描き)でデザインしたもの。もちろん、生地素材から真綿の手引き加工、わた詰めまで日本製。製造には(株)千總(西村總左衛門社長)と(有)ブラッツ(加藤晴夫社長)が参画している。

このほか、綿わたを使ったシルクシャンタン敷きふとんやシルク側地にポリエステルわたと低反発チップの2層構造の正絹流水枕など、京都発のデザインと素材、加工技術を発揮した商品が完成している。

これらの商品は、2月15、16の両日、東京・表参道ハナエビル2階で展示される。



京都の優れた技術を生かして作り上げられた寝装品などを紹介するカタログ